



菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓は、寛永九年（1632年）に建設されて以来、宝暦九年（1759年）、文化五年（1808年）、明治十四年（1881年）と三度の火災に遭い、百二十年ぶりの再建となりました。古図や古写真など資料が豊富に残っていること、現存する石川門（1788年築）、三十間長屋（1858年築）との時代的な整合性などから、文化六年再建時の姿に可能な限り忠実に復元しました。

工法は伝統的な木造軸組構造を基本としながらも、建築基準法による鉄筋コンクリート造の基礎や一部の柱寸法を太くする、床や野地板に耐火ボードを挟み込む、スプリンクラーを設置するなどのことを行っています。また、バリアフリー対策として入口スロープ、階段昇降機、エレベーターを設置しています。

建築にあたり、「自分たちのお城は自分たちの手で」と言う県内の職人さん達の意気込みのもと大工、左官、板金、建具等の職人による「石川の伝統的建造技術を伝える会」が結成され、56,000人に及ぶ県内の職人さん達が施工にあたりました。熟練工から若い職人までが一体となり力を発揮したことで、伝統技術の継承に大いに役立ちました。

使用された木材も県内産の能登ヒバ、杉を多く使い、全体量5,330石のうち71%にあたる3,830石を使用しました。

DATA

金沢市丸の内町地内
平成13年7月完成
W造：地上2階一部3階
延 1,894㎡

菱 櫓	3層3階建 入母屋造り 石落とし付き 延床 255.35㎡	石 落 し 武者窓、建具共銅板張り 破 風 銅板張り
五十間長屋	2層2階建 切妻屋根、折れ曲がり部入母屋造り 石落とし付き 延床 1,384.95㎡	窓 連窓武者窓 木製木戸
橋爪門続櫓	3層3階建 入母屋造り 寄棟造り 石落とし付き 延床 253.93㎡	床 拭板張り 1階 45mm 2・3階 30mm×2
橋爪一の門 鶴の丸土堀	高麗門、鉛瓦葺き、脇塀付き 延長 15m 木芯土堀控柱付き（石落とし、鉄砲挟間付き） 延長 62m	壁 板張り 24mm 天 井 1・2階 根太天井 3階 船底天井
仕上げ等（共通）	屋 根 鉛瓦葺 厚1.8mm（箱棟、鬼瓦、鳥衾） 軒 裏 垂木形波型揚塗り、総漆喰塗籠め 外 壁 総漆喰塗籠め（腰、海鼠壁） 各階共隅柱鉄板張り	設 備 等 スプリンクラー設備 非常用照明設備 火災報知器設備 階段昇降機設備 エレベーター設備



菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓夜景



橋爪門続櫓、一の門

culture

education

industry

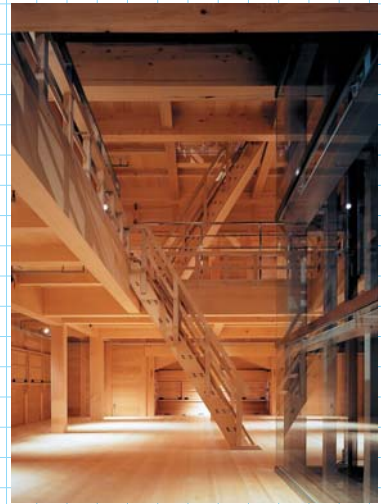
administration

welfare

housing



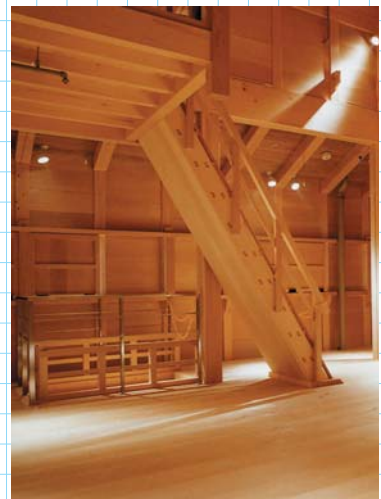
五十間長屋2階



橋爪門続櫓1階



五十間長屋1階



菱櫓2階



菱櫓1階・石落とし

施工編

①石垣



石垣積み

②基礎



地中梁



礎石と三和土

③木工事



立柱（建方開始）



足固め仕口

④上棟式



上棟式



菱檜屋根



五十間長屋小屋梁

⑤小舞かき



壁小舞かき



軒裏小舞かきと荒壁塗

⑥土居葺・なまり瓦



橋爪門続櫓の土居葺と屋根下地



なまり瓦葺

⑦鬼瓦・破風



鬼瓦の仮取付



破風の銅板張り

⑧石落し



石落し屋根下地



石落し完成

⑨なまこ壁



なまこ瓦の取付



砂漆喰目地塗

⑩左官仕上



軒裏波型漆喰仕上塗



壁白漆喰目地塗



管理センター



入口休憩所



鶴の丸便所



大手門便所



黒門便所

DATA	
管理センター 平成12年12月完成 RC造：地上1F、地下1F 延 553㎡	入口休憩所 平成12年7月完成 W造：1F 延 128㎡
鶴の丸便所 平成12年7月完成 RC造一部W造：1F 延 122㎡	大手門便所 平成12年7月完成 RC造一部W造：1F 延 94㎡
黒門便所 平成12年8月完成 RC造一部W造：1F 延 90㎡	



鶴丸倉庫



旧旅団司令部



新丸休憩所



三の丸休憩所



三の丸便所

DATA

鶴丸倉庫（改修工事）
平成13年12月完成
W造：2F
延 659㎡

旧旅団司令部（改修工事）
平成13年3月完成
W造：1F
延 196㎡

新丸休憩所
平成13年2月完成
W造：1F
延 36㎡

三の丸休憩所
平成13年2月完成
W造：1F
延 13㎡

三の丸便所
平成11年3月完成
RC造一部W造：1F
延 81㎡

金沢城公園配置図

